

「学生の授業評価」についての教員アンケート
集計結果報告（2010年度 後期分）

2011年7月

実践女子短期大学自己評価委員会

2010 年度後期「学生による授業評価」に関する教員アンケートについて

自己評価委員会

委員長 松尾昇治

2010 年度後期の『教員アンケート集計結果報告書』が完成しましたのでお届けします。

先生方には学事等でお忙しい中をアンケートにご協力くださりありがとうございました。今回のアンケートにつきましては、2010 年度前期を多少下回りましたが、合計 61 通の回答が寄せられましたことに感謝申し上げます。

回答の内容を見ますと、「学生の評価を全体としてどう受け止めましたか」という問いに対して、「だいたい納得できた」とする回答が 50.8%と最も多く、次いで「十分に納得できた」とする回答が 47.5%でした。これらを合わせますと 98.3%となります。2010 年度前期の数値が 95.5%ですから、今回は 3%近く上回ったこととなります。このことから、学生による評価に対する教員の受け止め方は、極めて肯定的であったと理解いたします。

自由記述に関しても、例年同様多くのご意見やご感想をいただきました。学生評価に対する各先生のコメントをお読みいただき、学生の状況を把握するとともに授業の改善等の参考にしていただきたいと思います。なお、「特になし」等の記述は無回答と同様にいたしました。また、同様のご意見も一つにまとめさせていただきました。今回も読みやすさを考慮するとともに、回答者や科目が特定されることを避けるために、一部で字句や表現の修正等を行っていますことをご了解ください。

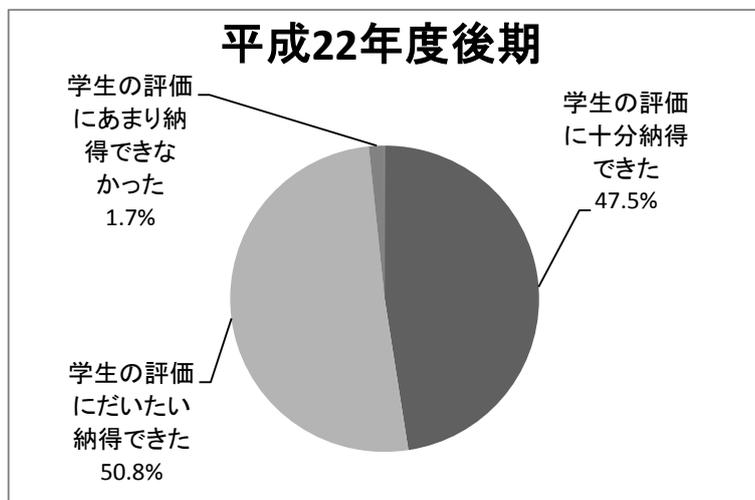
設問 5（授業改善に関する学校への要望）および設問 6（学生アンケートの内容、実施方法）において、学科や短大への要望を多くいただいております。本委員会において要望内容を精査し、ご要望に対する回答を本委員会と当該事務で作成し、「教員アンケートによるご意見」としてまとめました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。改善に向けて検討をして行きたいと考えておりますが、すでに備えてある設備等もございますので、ご覧いただき授業に活用していただきたいと思います。

最後になりますが、この報告書が教員の皆様に活用され、授業の改善および向上に資することができますれば、望外の喜びです。

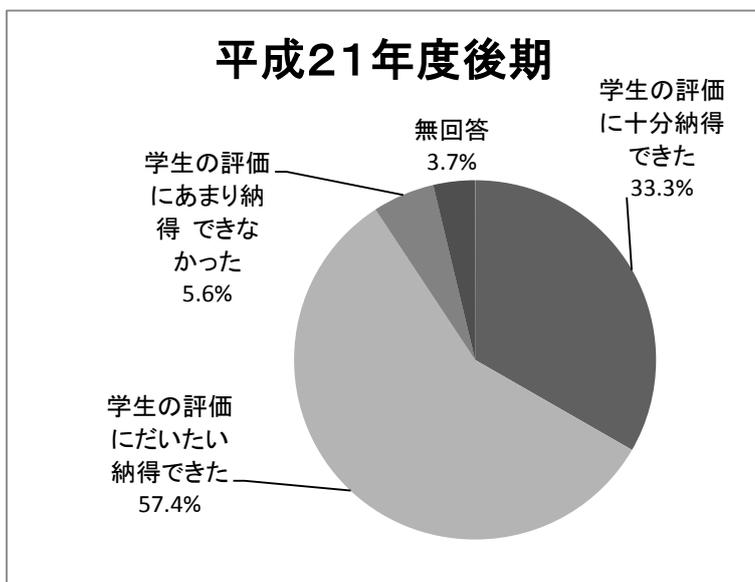
I. 設問 1、3、4に関する集計結果

— 平成22年度後期と平成21年度後期の比較 —

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(一つ選んでください)



選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	29	47.5%
学生の評価にだいたい納得できた	31	50.8%
学生の評価にあまり納得できなかった	1	1.7%
合計	61	100.0%

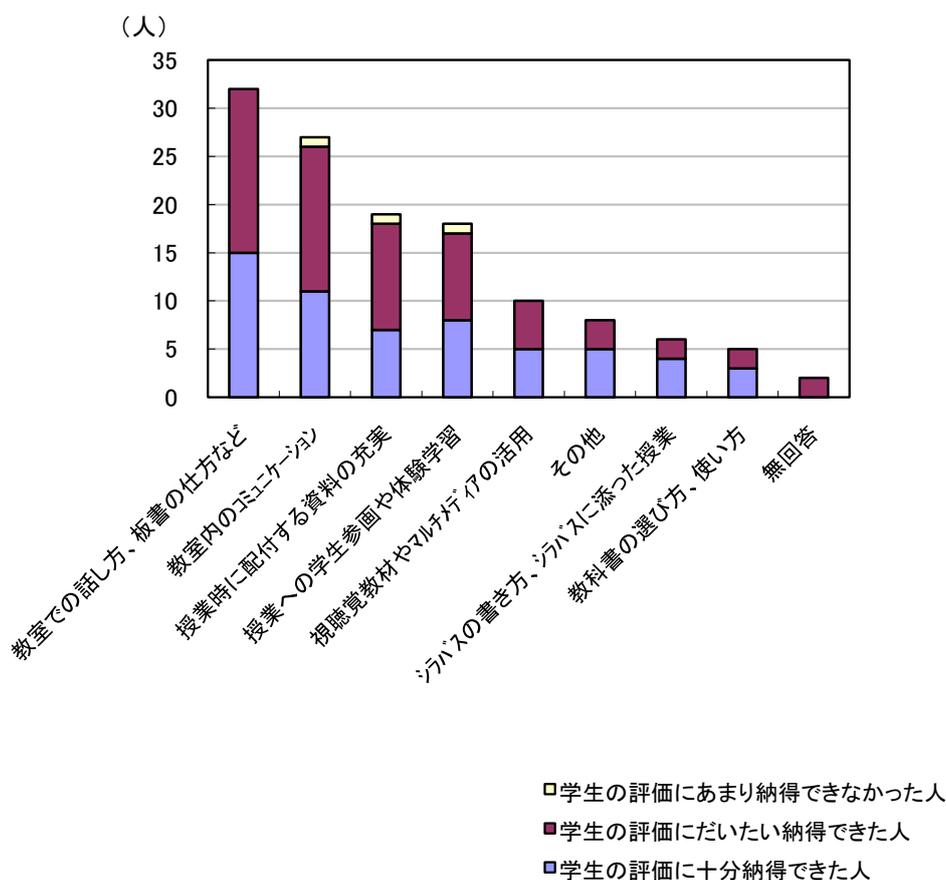


選択肢	回答(人)	割合
学生の評価に十分納得できた	18	33.3%
学生の評価にだいたい納得できた	31	57.4%
学生の評価にあまり納得できなかった	3	5.6%
無回答	2	3.7%
合計	54	100.0%

次の設問3および設問4は、学生の評価に「十分納得できた人」「だいたい納得できた人」「あまり納得できなかった人」の3群の先生方が、どのように授業改善を図りたいと考えているのか、学生に対してどのような要望をお持ちかを、それぞれ棒グラフにしました。

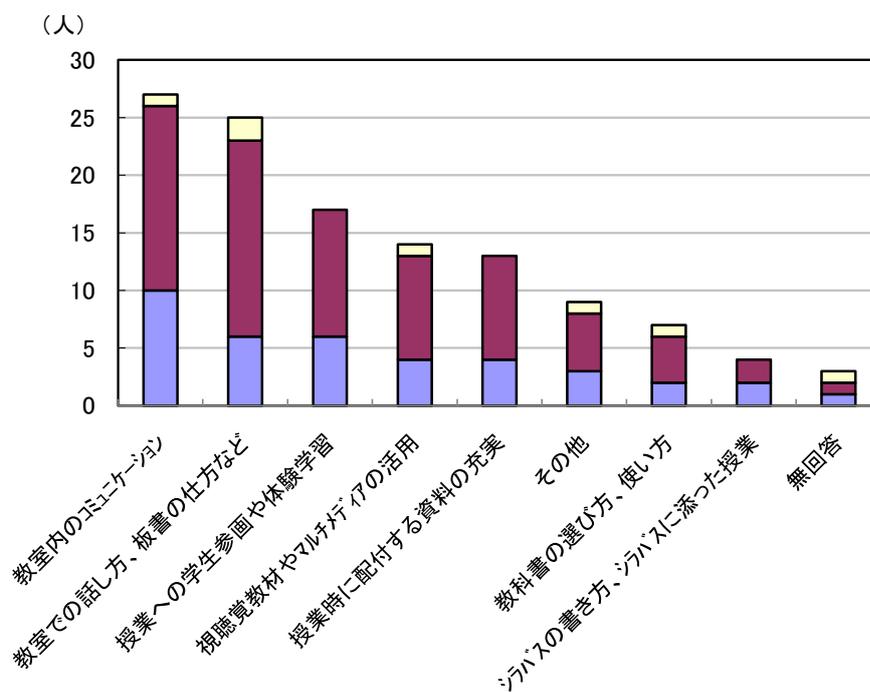
設問3-1 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成22年度 後期



授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計（人）
教室での話し方、板書の仕方など	15	17	0	32
教室内のコミュニケーション	11	15	1	27
授業時に配付する資料の充実	7	11	1	19
授業への学生参画や体験学習	8	9	1	18
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	5	0	10
その他	5	3	0	8
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	2	0	6
教科書の選び方、使い方	3	2	0	5
無回答	0	2	0	2
合計	58	66	3	127

平成21年度 後期



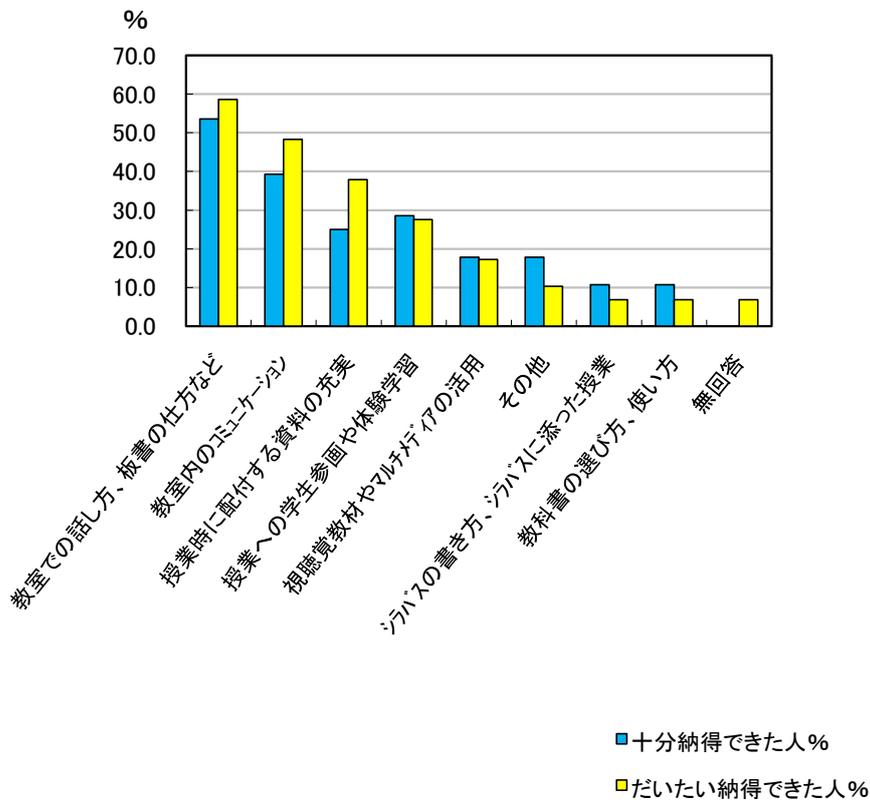
- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

授業で改善を図りたい点	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
教室内のコミュニケーション	10	16	1	27
教室での話し方、板書の仕方など	6	17	2	25
授業への学生参画や体験学習	6	11	0	17
視聴覚教材やマルチメディアの活用	4	9	1	14
授業時に配付する資料の充実	4	9	0	13
その他	3	5	1	9
教科書の選び方、使い方	2	4	1	7
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	2	2	0	4
無回答	1	1	1	3
合計	38	74	7	119

学生の評価に「十分納得できた人」と「だいたい納得できた人」の割合の差について

設問3-2 学生の評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどのようなことですか。（複数回答可）

平成22年度 後期



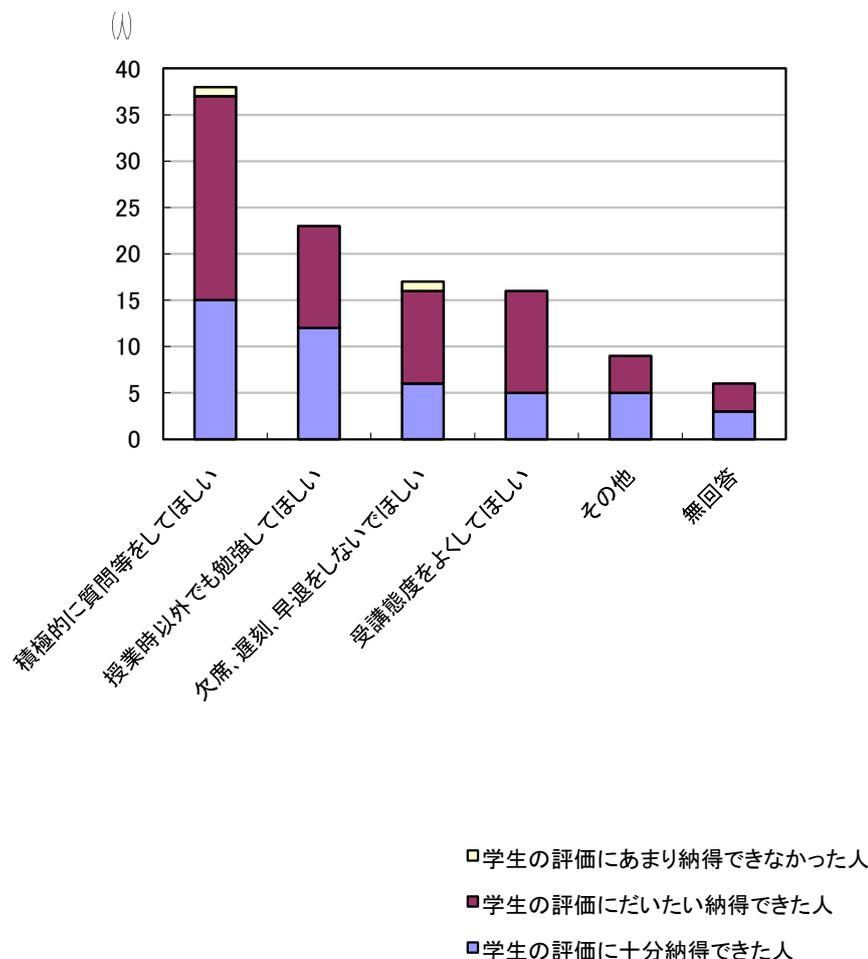
授業で改善を図りたい点	十分納得できた人 (29人)		だいたい納得できた人 (31人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
教室での話し方、板書の仕方など	15	51.7	17	54.8	32
教室内のコミュニケーション	11	37.9	15	48.4	26
授業時に配付する資料の充実	7	24.1	11	35.5	18
授業への学生参画や体験学習	8	27.6	9	29.0	17
視聴覚教材やマルチメディアの活用	5	17.2	5	16.1	10
その他	5	17.2	3	9.7	8
シラバスの書き方、シラバスに添った授業	4	13.8	2	6.5	6
教科書の選び方、使い方	3	10.3	2	6.5	5
無回答	0	0.0	2	6.5	2

※ 無回答を除く1人当たり回答件数 2.0件 ↓ 2.1件 ↓

注：「十分納得できた人」29人に対する割合 「だいたい納得できた人」31人に対する割合

設問 4-1 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

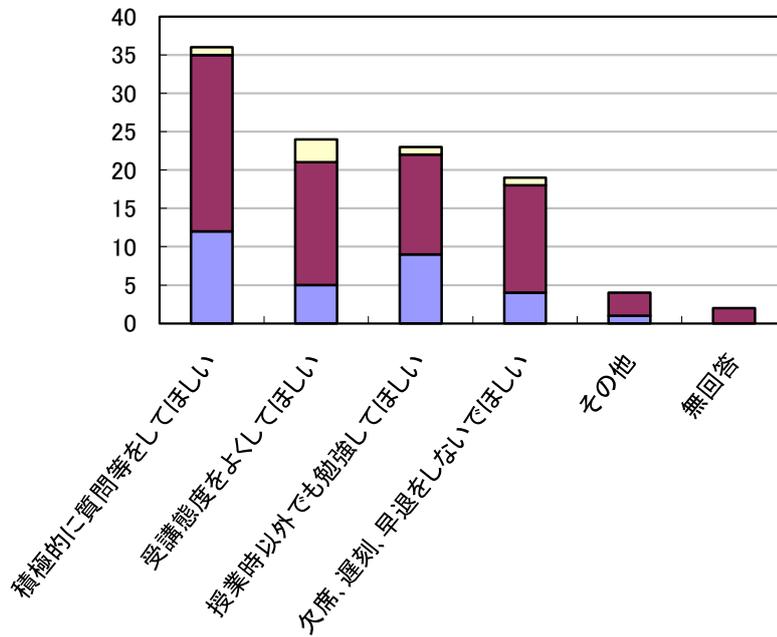
平成22年度 後期



学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	15	22	1	38
授業時以外でも勉強してほしい	12	11	0	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	6	11	1	18
受講態度をよくしてほしい	5	12	0	17
その他	5	4	0	9
無回答	3	3	0	6
合計	46	63	2	111

平成21年度 後期

(ウ)

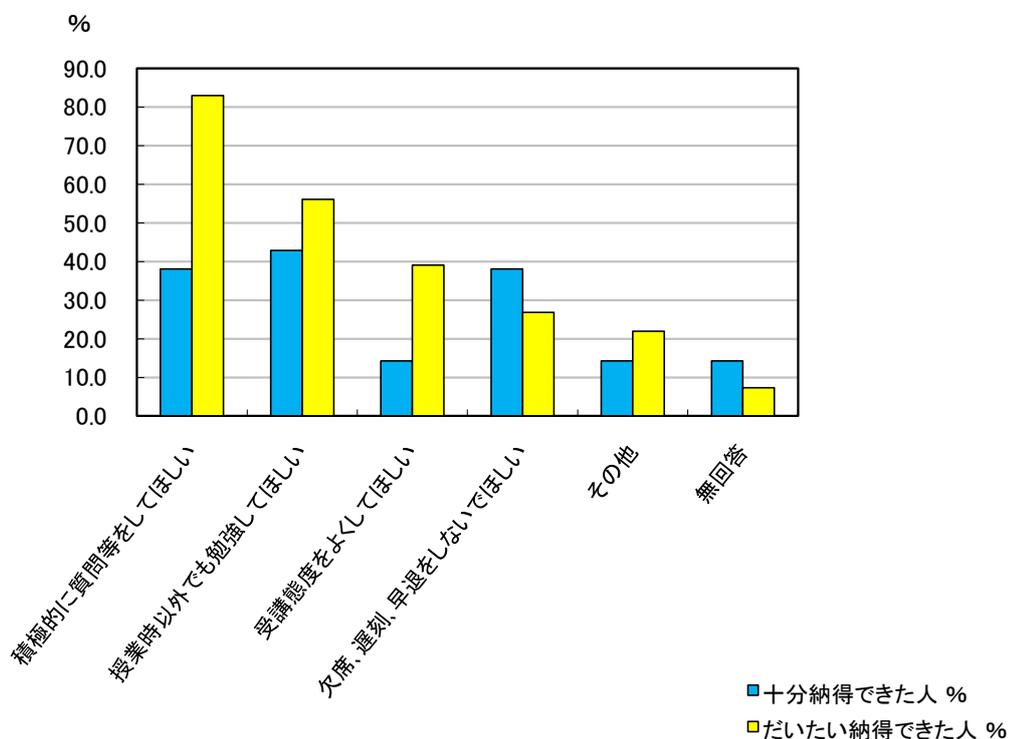


- 学生の評価にあまり納得できなかった人
- 学生の評価にだいたい納得できた人
- 学生の評価に十分納得できた人

学生に対する要望	学生の評価に十分納得できた人	学生の評価にだいたい納得できた人	学生の評価にあまり納得できなかった人	合計 (人)
積極的に質問等をしてほしい	12	23	1	36
受講態度をよくしてほしい	5	16	3	24
授業時以外でも勉強してほしい	9	13	1	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	4	14	1	19
その他	1	3	0	4
無回答	0	2	0	2
合計	31	71	6	108

設問 4-2 この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。
(複数回答可)

平成22年度 後期



学生に対する要望	十分納得できた人 (29人)		だいたい納得できた人 (31人)		合計 (人)
	人	%	人	%	
積極的に質問等をしてほしい	15	51.7	22	71.0	37
授業時以外でも勉強してほしい	12	41.4	11	35.5	23
欠席、遅刻、早退をしないでほしい	6	20.7	11	35.5	17
受講態度をよくしてほしい	5	17.2	12	38.7	17
その他	5	17.2	4	12.9	9
無回答	3	10.3	3	9.7	6

※1人当たり回答件数

1.6件 ↓

2.0件 ↓

注：「十分納得できた人」29人に対する割合 「だいたい納得できた人」31人に対する割合

Ⅱ. 設問 1 から 6 に関する自由記述のまとめ

*科目および担当者が特定される記述は、文章を損ねない範囲で修正をいたしました。
また、類似の記述については、まとめさせていただきましたことをご了承ください。

設問 1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。(有効回答数 39/61)

1. 十分納得できる(有効回答数 22/29)

- ・おおよそ、予想に近い結果が出た。1. シラバスに添って、授業を進めたことの評価が良かったこと。2. 堅苦しいと思って受けた授業で詩にたいする興味が湧いたという自由記入欄での感想が複数出たこと。
- ・学生の参加型授業、特に演習科目についての満足度が今回も高かった。翻れば、現在の学生は講義を聞き、理解することが困難であると言うことになる。講義に耐えうる力をつけさせて行かなくてはならないであろう。
- ・授業開始に当たって配慮したことが反映されていました。
- ・座学に関しては予想外に良い評価が得られた。これは学生が知りたいけれども難しく一人で理解に至らない部分を懇切丁寧に回話したことで理解が得られ満足がいったことが原因していると考えられる。「有難う」「一番分かりやすかった」「他の教科のこともわかるようになった」などなど正直うれしい。実験授業では「予習」をするよう課題を出したが、自ら勉強するものは少なく、後半になって気づいて頑張った学生は素晴らしい伸びを示した。望外の喜びであった。気づきが足りないまたは出来ない学生には不満があったと思う。努力なくして理解=喜びはないことに気付いてほしい。
- ・他者の主観としてそのまま受け止めるのみ(従来同様)です。
- ・23名(休学などを含めて事実上22名)の少人数だったので、できるだけ学生とのフィードバックを考えて進行していたし、学生も十分応じ、いい評価をしてくれたと思っています。
- ・初めてのことが多く、シラバス通りに授業を進行させるのがなかなか大変でした。この点、反省しています。次年度の克服すべき課題と思っています。
- ・思いの外、評価が高く、十分納得できる。話し方のみ、平均を下回ったので、マイクの使用、声量、滑舌などを改良したい。
- ・少人数授業で大半が欠席することなく熱心に受講してくれた(予想外の高評価におどろいている)。
- ・欠席が多いと全体の日程がずれ込みがちになります。その為に最後の課題に十分な時間がとれなかった点が指摘されていると思います。
- ・授業のレベルがやや高かったが、新しい事を学べたという点。
- ・全体的に私の授業に対する評価はこのようなものと考えます。
- ・不満が0パーセントだったので納得。
- ・どの項目も4以上でしたので十分満足しています。
- ・昨年度までのアンケート結果をもとに、改善点等、工夫してきた結果として、評価をいただき、自分なりに納得している。

- ・少人数であり、一人一人に適切な指導ができたことが評価につながったものと思う。
- ・学生が協力的でよく参加してくれたから。
- ・学生たちに接していて受けた印象からして納得できると思います。
- ・学生が真面目に授業に取り組み、受け入れていると思います。
- ・機械的に同じ列をマークしたのでは？ という学生もわずかに見られましたが、大多数の学生は考えてマークしてくれているように、感じました。
- ・学生が考えていることがわかりました。
- ・受け持っているクラスの学生の学力差は大きいですが、評価結果を見ますと、レベルの高い学生は満足と答えています。それは、積極的に学ぼうとする態度が反映しているのだと思います。もちろん、すべての学生が満足することはありませんが、評価は、教師としての私の努力と学生同士も授業をスムーズに進めようとする努力があった結果だと思います。私は学生たちに満足しています。学生も同様でしょう。また、学生が積極的にコメントをしてくれたことを大変うれしく思います。大多数の学生の成績は納得のいくものでした。出席が悪かったり、遅刻をしたりした学生には期末評価にCを与えましたが、出席のよい学生は、授業のなかで学ぶことの益があり、良い成績が取れます。

2. だいたい納得できる（有効回答数16/31）

- ・2科目担当させていただきましたが、授業での学生の反応の違いが、評価に現れているように感じます（全体的な評価、レベル・量など）。
- ・この学期は学生の学習意欲が高かったので、こちらの意図が伝わりやすかったと思う。
- ・DVDやプリント、パワーポイントなどを積極的に使用した効果があったように思います。
- ・講義中の反応や毎行ったミニテストの答案内容からしておおむね予想された評価結果であった。また、昨年度の評価結果と比較しても妥当なものと思える。
- ・学生はおおむね興味をもって参加してくれたようだ。
- ・評価が学生によって分かれており、意欲的に授業に取り組んだ学生の評価は高い傾向がある（全体の1/3）。積極的に質問するように求めたが、今年もほとんど質問が出なかった。それでも質問に対する教員の対応の評価欄に記入されているのがアンケートの信頼性を疑う。
- ・学生に直接聞いてみたいことがあった。授業内容がわかりやすく工夫されているとあまり思わないと回答した学生（1名）、質問に対する教員の態度が適切とあまり思わないと回答した学生（2名）。
- ・「大変満足」が増えた反面、「大変不満」が出てしまった。次項a. レベルについて に述べたように、受講生たちの理解度等々のバラつきが徐々に大きくなっているように感じられるが、その変化の流れと関連するのか、今回に限った反応なのか、これからも探っていきたい。
- ・もう少し厳しくても良かったと思う。
- ・学生の回答の平均が、担当2科目中、熱心な学生がいた科目が「意欲的に取り組んだ」について高い数値となっており、納得できました。
- ・受講生が17人と顔と名前がすぐ覚えられる人数でしたので、参加型授業としては、納得の行くものでした。
- ・積極的な受講姿勢を感じました。

- ・納得できる点 毎回授業の振り返りをレポートにまとめたことで自分との対話、整理ができたこと、授業の初回に学生生活の目標を持ち、チェックしたこと。
- ・納得できない点 授業に向き合う姿勢、自分を見つめることが浅い。
- ・1月に入り、レポートの書き直しをやらせたこともあって、学生の不満は強かったようである。
- ・あるクラスは易しすぎるし、もう一つのクラスはむずかしすぎます。

3. あまり納得できない（有効回答数1/1）

- ・受講生の数が少ないため、一部の学生の評価に引きずられた結果かと考える。教員の力不足は認めるところだが、例年より熱心に受講していた学生が多いという「手ごたえ」が反映されていない結果であり残念だ。

設問2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

a. レベルについて（有効回答数50/61）

- ・内容、伝え方ともに苦心しているところであるが、理念や哲学になると理解を得られるのは一部に限られるのかと反省している。なかなか苦しいところです。
- ・やや専門的で、難しい印象を与えても、基本知識の正確さを伝えたかったので、「やや難しい」が83.3%あったのは、予定通りの結果である。全体的に難しかったが、未知の知識を知ることによって自分の生活の中の詩についての認識が変化したという嬉しい反応も多々あった。興味関心が増えた・新しい知識等が40.5%。
- ・学力や意欲の両極にいる学生に、十分レベルを合わせることはできなかったかもしれません。
- ・適当だったかと思う。
- ・今回はもう少しレベルを上げてよかったかと思った。
- ・基礎的で身近な科目であり、授業では実例を多く示し解説したため、理解しやすかったものと考えます。
- ・少し難しいくらいがちょうどよい。
- ・授業レベル、とくに講義科目のレベルは相当に下げざるを得ないところに至っている。かつてのレベルに戻ることはないと思われるので、さらに分かりやすく、親しみやすい授業内容にする必要を切に感じる。
- ・同じ専門領域の他短大以上を目指してレベルを設定しています。就活を支援するためにも保持していきたいレベルです。
- ・レベル・量ともに不満が多かったようである。ある程度のレベルを達成しないと実務の現場で役立たないと考えられたため、敢えてレベルを落とさなかった。しかし大半は必死についてきてくれた。
- ・おおむね妥当と思われる評価結果であった。できるだけ平易なレベルになるよう心がけているが、毎年、少しずつ理解力や学習意欲が低下しているように感じる（講義内容の理解力確

認小テストなどを通じて)。理解できている学生と理解が追いつかない学生との格差が大きい。

- ・概ね想定していた満足度レベルではあったが、さらに高度なレベルを求める学生も存在するため、今後はその辺りの工夫を考える必要がある。
- ・体験型授業形式で行ったことが学生にとってはよかったのかもしれない。
- ・昨年、学生から授業の内容が少し難しいとの意見があったので、今年度はできる限り、やさしく伝えようと思いました。一部分ではもっと理解を助ける必要がありましたが、事例を挙げての説明などで、伝えることができたと思っています。
- ・やや難しいと思われた点があったようだ。英文（児童文学の原典）を使った授業があり、おそらくそれが原因だろうが、もう一度原因を精査したい。
- ・他の項目に比べ評価がやや低いですが、内容がビジネスレファレンスという、今まで全く知らなかったビジネスの世界に関する事なので当然だと思います。今後もチャレンジの意味を含めてレベルについてはやや高めと感じるぐらいでいいと思っています。
- ・昨年と同じ授業なのだが、レベルが難しいとする学生が13名中1名いたが、それ以外は適切と考えられていた。真面目に取り組んでいる学生のためにも、講義内容の質を確保するため授業のレベルを下げるつもりはない。
- ・授業後に学生達が寄せてくれる感想が、いつも、「少し難しめでしたが面白かった」というものでしたので、アンケートの結果はほぼ予想通りでした。どうしてもこれくらいのレベルの知識は持ってほしい、という願いから、やや難しめのところにレベルをおきました。
- ・もう少し、かみ砕いてもよいかと感じた。
- ・座学よりも課題や作業がともなう演習科目の方が、レベルが高いと回答する学生が多いようだ。
- ・例年通りである。後期の語学は、さらに難しくなるし、脱落してゆく者が多い。大学の単位として与える以上、これだけはというレベルと分量がある。しかし、こうした目安をそろそろ変えなければならないのかと思っている。
- ・基本的には、学生のレベルに合うよう適宜工夫をしている。
学習意欲によってレベルや量を押し量ることができるため学習努力をしてくださることを願っています。
- ・以前から自覚していたが、受講生たちの理解度等々のバラつきが徐々に大きくなっているように感じられる。日本文学および文学作品に慣れていない、という感触も受ける。「難しく」「内容全体があまり理解できなかつた」という感想がある一方、「難しかった」が「たのしかった」、「分かりやすい内容で、興味深く学ぶことが出来た」という感想もあった。どのくらいのレベルを設定したらよいのか……？
- ・高評価だったので、学生のレベルにも合致していたと思う。
- ・造形という理論だけではない側面を持った授業のため、理解しにくい面を感じてしまうことは、美術系の学生ではないので、やむを得ないと思います。
- ・やや高かったようだ。
- ・学生にある程度合わせたが、もう少し学術的な中身に拘りたい。
- ・正しい評価を受けたと思います。

- ・難しかったと答えている学生が1人いました。レベルのさまざまな学生に、分かりやすく伝える工夫をしたいと思います。
- ・学生の反応をみながら進めてきたが、学生も適切なレベルと評価してくれたものと考える。
- ・理解の状況をみながら進めるようにつとめました。
- ・だいたい適切だったと思う。
- ・労働法、業界知識など専門的な講義が難しいと感じられたようだ。
- ・各項目の内容をもう少し詳細に理解しやすく教えて行きたいと考えています。
- ・レベルが適当との答えが多かったが既に以前にフランス語の授業をとった人と初めての人が混在していてレベルの照準を合わせるのが難しかったと思います。
- ・4.2ですので適切であったのであろうと思います。
- ・ある程度以上のレポートを書かせたかったので、注意や指示を与えたが、十分に理解されていなかった。
- ・個人差はあるが、おおむね良かったと思う。
- ・レベル差を考慮しつつ指導方法を工夫したことが良い評価につながった。
- ・適正と考えます。
- ・例年とやや異なる評価で4.0だった。「どちらとも言えない」が24.3%で、2や1も3人いた。今回の学生のできが少し良く意欲的だったので、先の評価になったものか。
- ・専門職として社会に送り出すための教科としては、一定のレベルを保つ必要があるということを受け止めてくれたように思います。職場の現状からもレベルを下げることは好ましくないと考えます。
- ・テキストに対して、様々な意見があり、選ぶ難しさを感じた。
- ・内容が専門分野の為、学生さんの取り組み姿勢に温度差を感じその差を少なくするのが難しいと感じました。
- ・一部の学生にとってやや高レベルと感じているようです。従って少し考慮したいと思います。
- ・多少の個人差はありましたが、高校での経験差ではと思います。
- ・90%近くの学生が、5か4につけているので、ほぼ適当であったと思います。
- ・適切であったと考えます。英語だけでも理解できたようです。
- ・学生のレベルが比較的低いので、学生参加方式の授業をおこなって、できるだけ易しく、たのしい授業を心がけました。基本文型を使ってある程度流ちょうに英語が使えるようにと相当量の反復学習を行いました。
- ・私の担当する英語の授業内容は、平均的な学生にとってむずかしすぎます。

b. 量について（有効回答数44/61）

- ・絞り込んでいるつもりである。
- ・昨年より少なくしたものの、まだ少ないと言えるものではなかった。ただ、このアンケート結果でも、量は適切かという問いに、「強くそう思う」「ややそう思う」で54.8%あったので、今後ひとつの目安にしたいと思う。
- ・学力や意欲の両極にいる学生に、十分レベルを合わせるができなかったかもしれません。
- ・適当だったかと思う。

- ・このところ従来より量を減らしている。その結果、学生の高い満足度が得られたが、これに満足してもいいものかどうか、複雑な心境だ。
- ・教科書の他に、DVD やパワーポイントなどを使用し変化を持たせたことで、量的な負担を感じなかったものと思います。
- ・多めととらえるほうがちょうどよい。
- ・授業レベルと連動するものであると思う。レベルを下げるとともに、量も減らさなくてはならないであろう。
- ・同じ専門領域の他短大以上を目指して量を設定しています。就活を支援するためにも保持していきたい量です。
- ・レベルと同じように、量が多いかもしれないが、必要最低限のことを話したつもりである。理解を助けるような資料を随時用意したので、頑張っついてきてくれた学生には満足できたのではないかと思う。
- ・1回の講義の分量を少なくするようにはしてきているが評価結果からすると、さらにボリュームを少なくする必要があると思えるが、必要最小限の内容は講義したいので大幅な削減は難しく悩ましい問題である。
- ・準備・ふりかえりに時間をかけつつ行ったことが学生にとってはよかったのかもしれない。
- ・学生から特に不満はありませんでした。教える側からも、90分の授業を学生の質問、意見などを聞きながら進めていましたし、量的には無理がなかったと思います。
- ・やや多いと思われた点があったようだ。限られた授業回数だが、内容のレベルをおとさず余裕をもって学べるよう努力したい。
- ・資料等、やや多かったかもしれませんが、極端に多いほどではないと思っています。社会人に備えて、これもチャレンジして欲しいと思います。
- ・やや多いとしたのが、13人中3名いたが、全体としては適切と思われる。
- ・実習と話し合いに時間を割かざるを得なかった為、プリントを使って、学生に伝えたい知識量を補いました。教科書も併用しました。
- ・だいたいこれでよいのではないかと感じた。
- ・授業の量は、15回の回数内で調整せざるを得ないので、学生からみると、適正と受け取ってしまうようだ。
- ・ここ最近、大学は、学びの場ではなく、楽しむ場として社会的な役割を持っていると認識したほうがいいのではないかと思うことがある。その考え方に基づいて、授業を構成したほうがいいのではないかと思う。
- ・半期という与えられた期間とこれだけは伝えたいという内容・深さとの兼ね合いがあらためて難しく感じられる。
- ・平均レベルなので許容範囲か？ 教える側としてはもう少し自宅学習をしてほしかった。
- ・時間がオーバーした点を考慮し、内容を含めて若干の調整が必要かと感じました。真面目な人と欠席しがちな人との歩調を合わせるのが大変です。
- ・当初の計画より大幅に減らしたが、もう少し多く要求しても良かった。
- ・適量の内容と自負しています。
- ・量的にはもっと知って欲しいものがあつたが、半期の間に、伝えきれないものがあつた。

- ・理解の状況をみながら進めるようにつとめました。
- ・自己理解、職業理解、就活情報と多岐に亘る項目を盛り込まなくてはならないので、少々ボリュームが多いと思う。
- ・もう少し量を少なく内容を濃くしたいと思います。
- ・どちらとも言えないとの答えが「9」の答えよりも増えたので後半スピードを上げすぎたかもしれないと思っています。
- ・4.2 でするので適切であったのであろうと思います。
- ・適当であると思われる。
- ・途中で1コマ減ってしまったため、その後の調整が大変だった。
- ・適切であったと思う。学生の反応、理解度を考慮しながら今後も進めていきたい。
- ・適正と考えます。
- ・例年とやや異なる評価で若干低く4.0だった。「どちらとも言えない」が29.7%で、2が1人いた。今回は学生が意欲的で、できも少し良かったので先の評価となったものか。
- ・栄養士の就職に非常に関係する専門教科であり、また就職活動が早くなっていることから、学生が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路選択できるよう職場の現状を可能な限り伝えようと思いました。そのため量が多いと感じた学生もいたようです。しかし時間外に質問にくる学生を考えると、今後も可能な限りの量で伝えたいと考えますが、伝え方の工夫もしたいと思います。
- ・丁寧に教えようとするとなかなか先に進めない。理解のはやい学生は進行が遅いと手持ちぶさたになる。
- ・一方的な授業ではなく、なるべく全員に発言してもらいたいと考えた場合、1時間半では時間が足りなく感じるがありました。
- ・時間的にはこの程度の量で良いと思います。
- ・こちらも90%近くの学生が5か4につけているので、また残りの学生も3につけているので、ほぼ適量であったと思います。
- ・ある程度、学生に応じて宿題の量を変えました。
- ・授業の中での学習量については、シラバスの要件を満たし、学生に期末試験を受ける準備をさせるために、すべての授業を一生懸命やっています。さらに、スピーキングとリスニングの向上を目標にしていますので、語彙を増やすことと文法練習は限定的ですが、学生には毎回宿題を課しています。不思議なことに、私の授業は宿題の量も少なく、難しくもないと評価している学生もいます。このことは、6、7名の学生は宿題をやってくる意欲がありますが、その他の学生を見ている印象からすると、私の評価と合いません。
- ・英語で授業をするクラスは、幾人かの学生にとってむずかしすぎます。

設問3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点はどんなことですか。

(有効回答数21/61)

- ・学生自身に問題意識を持ってもらえる授業を目指しているが、今ひとつ食い付きが足りない気がするので模索中である。ただ、それには授業時間を食うので、量的には問題が残る。そのあたりのジレンマに頭を悩ませている。

- ・この科目にさらに興味を持ってもらえるように、よりわかりやすい授業を心がけたい。
- ・実習科目と講義ものが同じ評価様式だと、教員としては厳しい。
- ・6. を行うことで、一人一人が自問自答をしながら、真剣に問題を咀嚼することが大切と考える。咀嚼によって理解が深まり応用力がついていくであろう。(6：学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。)
- ・動画等を導入してわかりやすい講義とするようにしているがその効果は不明。ミニテスト用紙に質問記入欄を設けているがほとんど質問がない。また、前記したように理解できている学生と理解が追いつかない学生との格差が大きい、講義の内容のレベルや量を見直すつもりではいるが調整は難しい。
- ・学ぶ主体は学生自身であるということをはっきりさせる必要があります。そのことを学生が当然のことと思うような授業のしかたを見出し、実行しなければなりません。次年度はこの問題に取り組むことにしています。
- ・設問3の1から8の項目は授業を準備する立場では常に工夫を重ねています。しかし、意図的に考えないと、おろそかになりがちな6番と7番に関しては学生との距離、授業の内容理解などを考え、今後とも心がけていきたいところです。
- ・受講生が多く講義形式のため受動的になりがちだ。少しでも能動的に授業に参加できるよう工夫したい。
- ・配布資料の字が小さくて見づらいとの意見があったので、昨年同様印刷の仕方を改善した。授業をわかりやすくするため、教材を充実させたり、学生の参画機会を増やすなどして、できるだけ多くの学生が授業に興味をもち、楽しく、授業ができるようにやり方を考えてみたい。
- ・さらに内容を厳選し、分量を少なくして噛み砕いて説明するよう努めたい。一方で「やや難しい」が「おもしろい」と(いわゆる優秀な一部の受講生ではなく)大方の受講生たちが感じるくらいの授業もよいのではないかと、とも思われる。
- ・自宅学習に意欲的に取り組みやすいよう、課題の内容を工夫したい。
- ・一部のテーマを優しい方向に修正し、日程通りに終了できるように考えます。
- ・授業の内容自体をもう少し易しくする。
- ・もう少し学生の多様な関心事に応えたかった。ファッションや音楽について話すことがほとんど出来なかった。
- ・シラバスと授業内容の関連性を、よく説明するよう心がけたいと思います。
- ・教室外でのシミュレーションがあるので助手・副手のサポートがあれば助かる。
- ・3月で退職しましたので、控えさせていただきます。
- ・文字を読みやすく大きくする。
- ・提出課題の評価・返却にかかる時間が講義時間を超えたことがあったため、時間配分など、より工夫したいと思います。
- ・前に座りたかったとの声があり、次回は席を変えることも検討したい。
- ・授業時に配付する資料に関しては、テキストの補足として多くの学習課題のプリントを作成してきました。しかし、私の限られたスキルや経験からでは、学生を引きつけるような補足プリントを作成するに至っておりません。

設問4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどのようなことがありますか。

(有効回答数17/61)

- ・ 自宅学習の強化。
- ・ 学生さんの授業態度は良好です。
- ・ 良い学生だったと思う。
- ・ 興味や関心を持ってくれた学生が多かった点を嬉しく思います。そこでさらに興味を感じたことに対して日常生活の中で情報収集を実際に行ってみるなどの学びに取り組んでほしいと思います。
- ・ 積極的に参加してくれたので、満足です。
- ・ 学生に対する要望はございません。十分対応していただいていると思っています。
- ・ 4は、当たり前で自分の授業ではよく実行されていた。2.3.をすることで理解が深まり興味が広がる喜びを感じられるようになればしめたもの。
- ・ 講義後の小テストに質問記入欄を設けているが質問が皆無に近い。選択科目、5限の開講ということがあるかもしれないが、毎年受講者が減少している。就職活動などで多忙なのかもしれないが学生の学ぶ意欲も低下してきているように感じる。まずは受講してくれなければ教えようがない。
- ・ 午後の授業であることもあり、遅刻はないし、比較出席状況もいい方です。全体のカリキュラムがハードな中で、皆よく頑張ってくれていると思います。ただ、授業中の質疑など参加度の積極性は一部学生に限ることもあるので、もっと積極的に参加してほしいです。そして、シラバスにも授業中の私語禁止は注意を喚起していますが、1年生で、とても明るく、活発なこともあり、私語が増えている時もあるので、考えてほしい部分です。
- ・ 授業中に質問時間を設けて問いかけているが、ほとんど質問がない。かといって理解しているかと思うと、分かっていない。後席では授業が良く聞こえない、顔が見えない、私語がしやすい等の欠点がある。今年は、学生の数が例年より多かったので座る位置が分散してしまったが、前席に座り、積極的に授業に取り組み、質問をする姿勢を示してほしい。
- ・ 学生の基礎学力について少し気になりましたのは、教科書の漢字が所々正確に読めないとか、基礎的な歴史用語や熟語の意味があまり明確に分かっていないといった傾向が、全体的に見られることでした。それを説明するのに時間を要しました。個々、基礎学力を重視してほしいと思いました。
- ・ 1限目の授業は、眠そうな学生が見受けられる他、遅刻をする学生もいる。早起きの習慣を身につけていれば、そのようなことはないと思う。
- ・ 授業以外の学習を求めているないので、授業時間だけでも集中してほしい。また、欠席したところの授業内容は、友人に聞くのが当然のことと思われるが、最近の学生はそういうことをしないのだろうか。質問に適切に答えていないのは、どの点だろうか。授業が終わっての質問には、全て丁寧に答えてきたつもりだが、先週の授業については、大まかなことは説明するが、細かいことは友人に聞くように指導してきた。これが不満なのだろうか。
- ・ 一部の受講生だが単に出席しただけで安心してしまわないでほしい。取り組んでみようとする姿勢を養うことを引き出せるように工夫したい。

- ・短大の授業に慣れてきたら、各授業の関連性を考えながら受講すること。
- ・問題意識を持って授業に取り組んでほしい。また、友達と相談してもいいとこちらがいても、何もせずに一人でぼうっと考えているように見える学生がいる。学生同士のコミュニケーション（特にあまり知らない学生同士の）に臆することがなくなるといいのだが。
- ・良い学生が多かったです。

設問5. 授業改善に関することで、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面（情報機器、用具、備品など）について（有効回答数29/61）

- ・コピーをしたDVDやCDが読めないのが残念です。
- ・大きい教室では、ワイヤレスマイクを設置していただきたい。
- ・机を動かして班編制出来る教室を用意して欲しい。
- ・大変満足しています。
- ・授業用ソフトウェアをコンピュータ演習室以外でも、もっと自由に使えるようにしてほしい。グループワーク、討議式の授業ができる設備がない。従来の机、椅子、黒板といったスタイルはすぐに社会で役立つスキルを教えるには役立たない。もっと現代的なスタイルの設備が欲しい。パソコンや大きな机、プレゼンテーション設備などがあり自由に使える演習室が欲しい。
- ・受講生の人数や授業内容に適した教室の配当が考慮されるとありがたい。
- ・何もなくても学生の心をつかむ授業は出来ると思われる。
- ・現在使用している教室の設備で十分です。
- ・（1）黒板の面積を大きくしてください。
（2）ホワイトボード用のマーカーを常によい状態にしておいてください。
（3）移動可能な机・椅子を入れた教室をもっと増やしてください。
- ・インターネット、持ち込みパソコン（講義室の常備パソコンでもいいですが）の映像資料を講義室に流せるような環境であつたらと望んでいます。
- ・おおむね満足しているが、パワーポイント（パソコン）と教材提示器を同時に使えないことが不便である。授業は絵を見せながら説明することも多いので、改善していただけるとありがたい。
- ・プロジェクターのある教室を利用しているが、受講人数の割合には教室が広すぎる。もう少し狭い部屋で一体感のある授業をしたい。自由に動けるようにワイヤレスマイクの設置を望む。
- ・常に質疑応答や話し合いをしながら授業を進めるスタイルをとっております為、毎回、机を口の字形に並べ変えて授業をしていました。ゼミ形式の教室があると便利なのですが。
- ・インターネットはものすごく「重い」ことがあるが、これは物理的に仕方がないと思う。
- ・体育館の中で使用できる映像機器の充実をお願いします。
- ・コンピュータ室の継続的な利用を希望。
- ・木を削る為のヤスリ、小刀、サンドペーパーが不足していますので、補充していただけると助かります。

- ・学生の書き物を全員で見られる書画カメラ（OHP）が欲しかった。
- ・ほぼ良いと思います。
- ・適切な大きさの教室を用意してほしい。今年度は人数の割に大きすぎた。
- ・グループディスカッションをする機会が多く、自由にレイアウトできるように机や椅子の移動ができると準備しやすい。ディスカッションに距離ができる。
- ・ピンマイクが使用できればうれしいです。
- ・小さな教室でもパワーポイントが使用できるようにしてほしい。
- ・必要な機材をそろえて頂き、申し訳ない配慮でした。ありがとうございました。
- ・満足しています。
- ・毎年記していることですが、調理実習室の出口が一カ所のみで、災害時の避難上大きな問題となりますので、是非改善をして頂きたいです。
- ・黒板ではなく、ホワイトボードが望まれます。
- ・いまの設備が良いと思います。ありがとう。
- ・教員が、DVD を選択し、注文することを認めてほしい。

b. ソフト面等について（有効回答数 12/61）

- ・当日の作業のメンテナンス(印刷機の不具合など)がスムーズになると助かります。
- ・担当助手の方の適切な対応に感謝しています。
- ・年々入学者の学力の低下が感じられることと、学習の習慣がついていない者が多いこと、学習方法すら知らないものが多いことなどの改善ができたらいと思う。入学前教育、実践入門セミナーなどを有効活用すること。真剣に学生の目を開かせる先生が増えることが望まれる。
- ・ソフト面になるのかわかりませんが、助手の方が毎回 AV 機器を立ち上げてくれています。非常勤講師には助手副手をつけず自分でもできるようにしたらよいのでは。配布物等は非常勤講師室でいただいています。
- ・副手さんには大変お世話になりました。
- ・長期的には InDesign のような編集ソフトも常備している環境が必要になってくると思います。
- ・少しでも質の高い授業をするため、他の先生の授業を見学し参考にできるとありがたい。
- ・私の授業を聴覚障害のある学生が受講していましたが、学校側のケアが大変手厚いことにとっても感銘を受けました。ノート・テイカーの学生達も非常に真面目で、感心しました。
- ・ソフトウエアのバージョンアップをしていただきたいと思います。
- ・副手さんが、手話ができるので、コミュニケーションもとれて、いつも素早い対応をしてくださったので、助かりました。
- ・満足しています。
- ・テキストの決められたユニット数を終わらせるのに苦労しました。シラバスは、8ユニットではなく7ユニットであつたら良いと思います。このように言っても、内容には満足しています。

設問6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。(有効回答数21/61)

- ・自由回答のコメント部分を必須にして、より学生の声が分かるようにして欲しい。
- ・もう少し項目が個別具体的であってもよかった。学生自身適当に書いている印象を持った。
- ・フリーの意見を聞くことをメインにして欲しい。
- ・教員が学生に求めている学力と、学生の意識とにギャップがあり、その点がアンケートにも反映されている。
- ・アンケートについて理解していない学生もいるので、事前に全員にアンケートの目的や意義について説明をして頂けると良いと思いました。
- ・学生自身の授業の取り組みについての評価と授業評価との関連を検討することも必要があると思いました。
- ・学生たちが自由記入の感想を記してくれるのは嬉しく思います。これらを今後の授業に生かしていきたいと思います。
- ・アンケートであるので、自分の意見に責任を持って書いてほしいと思う。
- ・全講座に対しアンケート回答するので大変かと思いますが、一言でもコメントがあると嬉しいなと思います。
- ・アンケートの意義もわかりますが、毎学期やらなくてもいいのではないかと、という気もします。あまり回数が多いと学生もマンネリ化して、機械的にマークするという傾向にかたむきがちかと思えます。2～3年に1回で十分ではないでしょうか。
- ・一律の評価基準による評価は限界にきているのではないかと、形式的に行うアンケートであれば今のスタイルになると思う。また、学生に迎合するような授業展開ではこまるので、この結果の反映が難しい。
- ・アンケート用紙の回収方法について、教員が用紙を配布し記入を依頼するところまで行い、回収は事務部（学生の活用を含め）が行うようにしたらどうでしょうか。また、総合満足度について結果を学生に公表したらどうでしょうか。
- ・アンケートは自身が担当した講義に対する学生の評価を知ることができる良い機会です。今後もこのペースで進めて頂ければと思っております。
- ・特に意見はありませんが、教える側として授業にどのように取り組むかなどの提案、意見などを考えてもよろしいのではないのでしょうか。
- ・学生自身が内省できる質問もあると、彼女らがどんなことを考えているのかよくわかり、授業運営に役立つと思う。
- ・発言に責任をもたせるため記名式のアンケートにすること。期末でなく中間時にアンケートを実施すれば、レベルの低い学生への対処方法の検討、授業方法の反省を行うことができ、その成果を後半の授業に生かせると思う。自由記入欄の記入は、参考となるので必須事項としたい。なお、講義を受けた学生から、「毎週課題とするレポートについて『ユニバーサルデザイン』を発案していくのはとても楽しく、先生からのコメントを頂けるのも良かった。」との感想をもらい、来年度も続けたいと考えている。
- ・アンケート結果をわかりやすいグラフにさせていただき、とても参考になりました。次年度の糧にしたいと思います。

- ・学期末に実施されるので、半期の授業結果を知ることが出来て毎年度の授業方法や計画の参考になった。
- ・お送りいただくローデータ（マークシート）の管理に困るので、可能であれば自由記述回答もデータ化していただき、マークシートは学校側で保管（あるいは処分）していただけると助かります。
- ・紙がもったいない。ネットによる入力は無理だろうか。
- ・学生は「シラバス」の意味を理解しているのでしょうか。私は、決められたシラバスを時間の割り振りも含めて正確にやっています。ところが、学生の評価は、「ふつう」です！ 当惑しました。（私の考えていることや意見を取り上げてくださった自己評価委員会に感謝します。）

《教員アンケートによるご意見》

2010年度 後期分 No.1

希 望 項 目	回 答
①少しでも質の高い授業をするため、他の先生の授業を見学し参考にできるとありがたい。	学生へ質の高い授業を提供するために、FD推進委員会において検討を重ねてきております。自己評価委員会としても希望方策が図れるように検討をしていきたいと考えます。(自己評価委員会)
②自由回答のコメント部分を必須にして、より学生の声分かるようにしてほしい。	来年度にむけて学生による授業評価アンケートの質問内容等を見直していく予定です。(自己評価委員会)
③アンケートであるので、自分の意見に責任を持って書いてほしいと思う。	各教室で授業評価アンケートの趣旨を教員から説明して学生の自覚を促すようにお願いします。(自己評価委員会)
④毎学期やらなくてもいいのではないかという気もします。学生もマンネリ化して、機械的にマークをする傾向にかたむきがちかと思えます。2～3年に1回で十分ではないでしょうか。	その学期の評価を得ることによって、教員と学生が協力して授業のよりよい改善を図り、今後の授業展開につなげていく意味から、毎回実施しております。(自己評価委員会)
⑤総合満足度について結果を学生に公表したらどうでしょうか。	「学生による授業評価」の総合満足度集計及び「教員アンケート」集計のデータをホームページ上で公開しています。(自己評価委員会)
⑥可能であれば自由記述回答もデータ化していただき、マークシートは学校側で保管(あるいは処分)していただけると助かります。	自由記述回答データ化は予算を伴うことでありますので、アンケート方法の見直しを行う機会に検討します。なお、マークシートの処分については、廃棄できるよう検討します。(自己評価委員会)
⑦机を動かしてゼミ形式の授業が出来る教室を用意してほしい。	学生机を移動できる教室は、21教室あります。教務担当にご相談いただければ教室変更は可能です。(教務担当)
⑧机を並べ変えないでゼミ形式の授業ができる教室を用意してほしい。	机を移動しないで円陣になって授業ができる教室は、Ⅲ館A棟にある313教室だけです。定員30名ですが、空いていれば使用できます。(教務担当)
⑨インターネット、持ち込みパソコン(講義室常設のパソコンでもいい)の映像資料を講義室に流せるような環境を望みます。	ほとんどの教室でLAN接続が可能です。ただしK301、K302、Ⅲ106、I 101、I 103、I 104では利用できませんので、上記以外の設置されている教室へ変更が可能です。お申し出ください。(教務担当)
⑩体育館内で使用できる映像機器を充実してほしい。	体育館に新たに映像機器を設置することはできません。利用する際は、プロジェクターやスクリーンを接続してください。研究室や非常勤講師室、教務担当にご相談ください。(教務担当)
⑪書画カメラの設置を希望する。	書画カメラが設置されている教室は、H301、H302、H402、K201、K202、I 201、I 304、H113、H109、K101、K203、I 301です。空いている場合は、上記の教室への変更が可能です。お申し出ください。(教務担当)
⑫パワーポイント(パソコン)と教材提示器を同時に使えないことが不便である。授業は絵を見せながら説明したい。	同時に使用することはできません。申し訳ありませんが、プロジェクターやスクリーン等をもう一台ご使用ください。(教務担当)

《教員アンケートによるご意見》

2010年度 後期分 No.2

希望項目	回答
⑬ワイヤレスマイク、ピンマイクの設置を望む。	教室により用意できる場合がありますので、研究室または非常勤講師室にお申し出ください。(教務担当)
⑭ホワイトボード用のマーカーをよい状態にしておいてほしい。	用務の方が点検・交換してくださっています。教務担当でも随時、確認しております。毎時間新品を使うということではできませんのでご了承ください。(教務担当)

授業に関するアンケート

実践女子短期大学

このアンケートは、学生の皆さんの意見を受けとめて、短大の授業をより良くしていくために行うものです。アンケートは無記名で行い、調査結果もデータとして統計処理します。誰が書いた回答かわかりませんし、授業の成績とも関係しません。あなたの思っていること、感じていることを正直に答えてください。

良いマーク 悪いマーク

所属学科	<input type="radio"/> 日本語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 生活福祉学科 <input type="radio"/> 英語コミュニケーション学科 <input type="radio"/> 食物栄養学科 <input type="radio"/> 実践女子大学 <input type="radio"/> その他	授業名	
在籍学年	<input type="radio"/> 1年生 <input type="radio"/> 2年生 <input type="radio"/> 単位互換生 <input type="radio"/> その他	担当教員名	

評 価 項 目		マ ー ク 欄					
あなた自身の授業の取り組みについて	1	あなたはこの授業中に授業と関係ない会話をしたことがありますか	全く しなかった (5)	ごく まれにした (4)	時々した (3)	かなりした (2)	毎回した (1)
	2	あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか	そう思う (5)	やや そう思う (4)	どちらとも 言えない (3)	あまり そう思わない (2)	そう 思わない (1)

教員の授業の進め方について	3	講義概要などの授業計画にそって、授業は進められましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	4	授業内容はあなたにとってわかりやすく工夫されて いましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすいものでしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	6	この授業の教科書・資料や視聴覚教材の使用は 適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	7	質問に対する教員の対応は適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	8	総合的に考えて、教員は熱心に授業を進めましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

授業の内容について	9	授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	10	9で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の難易度はあなたにとってどうでしたか		難し過ぎた (5)	やや難しい (4)		やや易しい (2)	易し過ぎた (1)	
	11	授業内容の量はあなたにとって適切でしたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	12	11で(2)か(1)にマークした人は次の質問に教えてください 授業内容の量はあなたにとってどうでしたか		多過ぎた (5)	やや多い (4)		やや少ない (2)	少な過ぎた (1)	
	13	この授業を受講して、あなたの興味や関心はふえましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	14	この授業を受講して、新しい知識あるいは技術を 得ることができましたか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
15	総合的に考えて、この授業を受講してよかったです と思いますか	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→	

授業別の特別設問	16	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→
	17	この項目は、教員から特に指示された場合のみ回答してください	←	そう思う (5)	(4)	(3)	(2)	(1)	→

自由記入欄（授業への感想や要望などを自由に書いてください。裏面使用可）

「学生による授業評価」に関する教員アンケート

自己評価委員会

2010年度後期授業アンケートについて、以下のアンケート項目にお答えください。

1. 学生の評価を全体としてどう受けとめましたか。（1つ選んでください）

【回答欄】

1. 十分納得できる
2. だいたい納得できる
3. あまり納得できない

- ・ 納得できる点、あるいは納得できない点があれば具体的にお書きください。

2. 授業のレベルと量についての学生の評価はいかがでしたか。この評価について、先生の側から見たご意見があればお書きください。

- a. レベルについて

- b. 量について

3. この評価結果を踏まえて、今後の授業で特に改善を図りたい点があれば下記からお選びください。（複数回答可）

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 教科書の選び方、授業時における使い方を工夫する。
2. シラバスの書き方を工夫し、シラバスに添った授業を行う。
3. 教室での話し方、板書の仕方などを工夫する。
4. 授業時に配付する資料を充実させる。
5. ビデオや映像資料などの視聴覚教材やマルチメディアの活用を図る。
6. 学生との質疑応答など、教室内のコミュニケーションをよくする。
7. 一方的な講義でなく学生の参画や体験学習にも力を入れる。
8. その他。

「その他」をお選びの場合には、改善を図りたいと考えている点をお書きください。

4. この評価結果を見て、学生に対する要望としてはどんなことがありますか。(複数回答可)

【回答欄】

--	--	--	--	--

1. 私語を慎むなど受講態度をよくしてほしい。
2. もっと積極的に質問をしたり、授業後でも分からないことがあれば聞いてほしい。
3. 教科書や教室で指示した参考書を読むなど、授業時以外でも勉強してほしい。
4. 欠席はもちろん、遅刻、早退をしないように努力してほしい。
5. その他。

「その他」をお選びの場合には、その要望をお書きください。

--

5. 授業改善に関する事で、学校への要望があれば具体的にお書きください。

a. ハード面 (情報機器、用具、備品など) について

--

b. ソフト面等について

--

6. 学生アンケートの内容、実施方法について、ご意見やご要望があれば具体的にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、自己評価委員会で報告書にまとめた上、Web 上でも公表する予定です。
なお、自由記述に関しては、必要に応じて字句や表現を修正させていただく場合があります。

提出締切は、4月9日(土)です。

©2011 年度実践女子短期大学自己評価委員会

委員長 : 松尾昇治 (教職・図書館学課程)

副委員長 : 加藤チイ (食物栄養学科)

委員 : 高瀬真理子 (日本語コミュニケーション学科)

スティーブン・F・マーティン (英語コミュニケーション学科)

井上千枝子 (生活福祉学科)

庶務 : 海野政司、寺師香織